

NEWSLETTER No.86 ISSN 1340-5578  
TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ  
The Society for Research in Asiatic Music September 25, 2012

一般社団法人 東洋音楽学会 会報 第86号

発行 (社)東洋音楽学会  
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152  
●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

## 目次

一般社団法人への移行のお知らせ……………	1	ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ……………	3
第1回定時社員総会のお知らせ……………	1	東日本支部からのお知らせ……………	4
総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い……………	2	会員異動……………	5
第63回大会のご案内……………	2	図書・資料等の受贈……………	5
第30回田邊尚雄賞アンケートのお願い……………	2	新刊書籍……………	5
会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど……………	3	新発売視聴覚資料……………	6
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ……………	3	編集後記……………	7

### 一般社団法人への移行のお知らせ

本学会は、国の方針による法人制度改革にともない、9月から始まる平成24年度より、新たに「一般社団法人東洋音楽学会」となりました。定款も新たに変更となりました。

本学会の新しい「定款」は昨年の総会で了承され、この9月3日付けで登記が完了しましたので、既に発効しております。この会報に同封してお届けしていますので、ぜひご一読ください。また、学会ホームページにてご覧になることもできます。

なお、昨年の総会にてあらかじめ承り承らしていただきましたように、その後の定款変更の申請手続きにあたって、法人法の定めと監督官庁の指導に従って、総会で承認された定款案の文言が一部修正されています。

また、来たる総会(正式名称は「定時社員総会」)からは、成立要件が「正会員(法人法上は「社員」)の過半数」と、厳しくなったこと、欠席する場合の議決権の行使方法が旧来の定款から変更されたことにご注意ください。これについては次の記事(総会の招集状と書面議決書、委任状等の説明)をよくお読みくださいますよう、お願い申し上げます。

(一般社団法人東洋音楽学会 会長: 金城 厚)

### 第1回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人東洋音楽学会 正会員各位

一般社団法人東洋音楽学会 会長 金城 厚

#### 第1回定時社員総会招集状

一般社団法人東洋音楽学会定款第16条及び第18条の定めに基づき、第1回定時社員総会を下記の通り開催いたしますので、正会員はご出席下さい。

#### 記

日時 2012年11月10日(土)16時40分～18時20分

場所 国立音楽大学講堂大ホール

#### 審議事項

第1号議案 役員選任の件

第2号議案 2011年度事業報告の件

第3号議案 2011年度収支決算の件

第4号議案 2012年8月31日貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第5号議案 2012年8月31日現在会員異動状況の件

第6号議案 定款施行細則制定の件

第7号議案 その他

報告事項

1. 2012 年度事業計画の件
2. 2012 年度収支予算の件
3. その他

・総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いしています。詳しくは、別項「総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い」をご熟読ください。

・上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

## 総会への出席と「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

正会員みなさん、一般社団法人への移行に伴い、今年度より総会の成立には正会員の過半数の出席が必要となりました。

総会への出席（議決権の行使）は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会に欠席する場合、下記のいずれかによって議決権を行使することができます。総会成立のため、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### ①「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書は、10 月中旬に学会のホームページに掲載されます。担当理事から、10 月中旬に書面議決書を電子メールにて配信しますので、書面議決書によって議決権を行使する場合には、個々の議案への賛否を記入して議案書に記したメールアドレス宛に返信してください。配信先は、学会に届けである（会員名簿に掲載の）アドレスです。変更した方は必ずお知らせください。

議案書を郵送で受け取りたい正会員は、同封した「大会参加申込みハガキ」の記入欄 (b) に○をつけて返送してください。必要な書類を 10 月末までに郵送でお届けします。それに同封する「書面議決書」に賛否を記入して返送してください。

### ②「委任状」の提出

新しい定款では他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することもできます。委任する方は、「大会参加申込みハガキ」の委任状の欄 (c) の提出に○をつけて、代理人の氏名をご記入下さい。代理人は正会員のみが認められます。なお、空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものととして扱います。

## 第 63 回大会のご案内

東洋音楽学会第 63 回大会を、同封のプログラムの通り、国立音楽大学において開催いたします。

第 1 日 (11 月 10 日) の午前には、昨年に引き続き「震災後の民俗芸能の復興」をテーマにプレセッションを企画しました。被災地における芸能を継続的に考察、あるいは支援するなどして、様々な立場で関わっておられる方々からこの一年の状況を報告していただき、学会として何ができるのかを考える機会を持ちたいと思います。午後には公開講演会を行います。第 1 部として、会期中に開催されます国立音楽大学附属図書館所蔵竹内道敬文庫展観に合わせて、このコレクションの所有者であった竹内道敬氏にコレクション成立までの経緯、特色、今回の展観の見所などを語っていただきます。第 2 部「雅楽の現在」では笙奏者の宮田まゆみさんのお話・実演と伶楽舎による演奏を通して、伝統に立脚しつつ、常に時代と向き合って現代まで命脈を保ってきた雅楽の今の姿に迫ります。

第 2 日 (11 月 11 日) には 2 会場において、多分野にわたる計 18 本の研究発表、パネルディスカッション、パフォーマンスとレクチャーが行われます。

大会期間中には、前述のとおり、国立音楽大学附属図書館所蔵竹内道敬文庫展観が開催されます。各種正本類、主に歌舞伎の舞台と関わる貴重な錦絵の展示が予定されています。また、第 1 日には国立音楽大学楽器学資料館が臨時開館されます。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### ◎出欠の回答

同封の返信はがきの各欄にもれなくご記入の上、10 月 22 日 (月) 必着でご返送ください。やむを得ず総会に出席できない方は、このページの左側に記載された方法で議決書を提出するか、返信はがきの委任状の欄を用いて議決権の行使を委任してください。

### ◎大会参加費、懇親会費、昼食代の納入

必ず同封の払込用紙にて、10 月 22 日 (月) までにご入金ください。10 月 22 日までに納入された方には、大会参加費の割引 (早割) がありますので、早めのご入金をお勧めいたします。払い込みの金額は次の通りです。

#### 大会参加費

正会員	3,000 円
早割	2,000 円 (10 月 22 日までに納入)
学生会員	1,500 円
早割	1,000 円 (10 月 22 日までに納入)
懇親会費	4,000 円 (学生会員 2,000 円)
第 2 日の昼食代 (お弁当とお茶)	800 円

☆非会員 第1日公開講演会のみ参加の場合1,000円(資料代)、両日参加、あるいは第2日のみ参加の場合、いずれも3,000円

\*同封の払込用紙は大会専用のもので、学会費の納入にはお使いにならないようにお願いします。

\*期日を過ぎてご入金された方は、必ず受領証をお持ちになり、受付にてご提示ください。

\*大会2日目の昼食のお弁当(お茶つき)は、期日までに返信はがきにて注文の上、払込用紙にて代金をお支払いいただいた方のみご用意します。予約のない方への販売はございませんのであらかじめご了承ください。会場より7、8分ほど歩きますと飲食店やコンビニはありませんので、お弁当のご注文をお勧めします(大会第1日は学内のコンビニが営業していますのでご利用ください)。

\*大会実行委員会では宿泊所の斡旋はございません。

\*プログラムの再配布はありませんので、当日は、同封のプログラムを忘れずにご持参ください。

## 第30回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第30回田邊尚雄賞選考委員会では、同賞の選考にあたり、推薦情報を募集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、皆さまからの積極的なアンケート送付をお願いいたします。自薦他薦は問いません。

**選考対象:** 2012年1月1日～12月31日の発行物。

**アンケート締切:** 2013年2月上旬(予定)

随時受け付けますので、早めにお知らせください。

**記入事項:** 著者名、発行年月日、発行所名。なお、論文の場合は、以上のほか、掲載誌名、巻次、編集者名、論文頁数も記してください。

**送り先:** 東洋音楽学会第30回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送) 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

(FAX) 03-3832-5152 (電子メール) LEN03210@nifty.com

選考委員: 岡崎淑子、ジェラルド・グローマー、酒井正子、田中多佳子、野川美穂子

## 会費納入のお願いと割引制度のお知らせなど

### 1. 会費納入のお願い

2012年度の会費請求書と振替用紙を別便で郵送いたしました。滞納のある方には滞納分を含めた金額をお知らせしておりますので、請求書の金額をお確かめの上、お払い込みください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

### 2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページでご確認の上、お申し込みください。

### 3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

### 4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員には、その年度の会費の納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

## 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』78号(2013年8月刊行予定)の原稿を募集します。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規定」および、学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。

送付先: 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3

三春ビル307号

一般社団法人 東洋音楽学会事務所内

東洋音楽学会機関誌編集委員会

なお、封筒の表に「機関誌投稿原稿在中」と明記してください。

送付方法: プリントアウトした原稿を郵送すること。ただし書留郵便にはしないこと。直接持参、メール添付は受け付けない。

締め切り: 2012年12月14日(金) 必着

## ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ

### 1. 機関誌(Yearbook for Traditional Music)と会報(Bulletin)のオンライン化

会報85号ですでお知らせしましたが、ICTMの機関紙、Yearbook for Traditional Musicの創刊号(1969年)から最新号までが、JSTOR(<http://www.jstor.org/>)で閲覧できるようになりました。また、ICTMの会報(Bulletin)も、2011年10月号(119号)からオンライン化されました。最新の会報は、ICTMホームページ(<http://www.ictmusic.org/>)から、Publicationsの欄の“Bulletin of the ICTM”の文字をクリックすると、ダウンロードができるページが表示されます。直接そのページに入るには、以下URLにアクセスしてください。  
<http://www.ictmusic.org/publications/bulletin-ictm>

## 2. 第42回 ICTM 世界大会のお知らせ

場所：上海音楽院 (Shanghai Conservatory of Music)

日程：2013年7月11(木)～17日(水)

(発表申込はすでに締め切られました。)

学会テーマ：

- 1) Presentation and Representation in Minority Musics and Dance
- 2) Rethinking, Reconstruction, and Reinventing Musical Pasts
- 3) Ethnomusicology, Ethnochoreology, and Education
- 4) Ritual, Religion and the Performing Arts
- 5) Screening Music and Dance
- 6) New Research

詳細は学会ウェブサイト (<http://ictm2013.shcmusic.edu.cn/index.html>) をご覧ください。

## 3. ICTM 研究会 (ICTM Study Groups) のシンポジウムのお知らせ

ICTM 内では、特定の研究領域・関心を共有する会員による数々の研究会が結成されています。各研究会は定期的にシンポジウムを開催したり、研究成果を出版物として発表したりしています。また世界大会の際に会合を行っている研究会も多いので、世界大会参加の折には興味のある研究会の会合に出席されてみるとよいと思います。今後予定されているシンポジウムを参考までに列挙します。各シンポジウムの詳細については、ICTM ホームページ (<http://www.ictmusic.org/>) の Events の欄の “Upcoming ICTM Events” をご覧ください。

### Iconography of the Performing Arts 第11回シンポジウム

場所：北京、中国

日程：2012年10月26日(金)～30日(火)

(発表申込はすでに締め切られました)

### Maqām 第8回シンポジウム

場所：ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、サラエボ (Sarajevo, Bosnia and Herzegovina)

日程：2012年11月8日(火)～11日(日)

(発表申込はすでに締め切られました)

### Music of the Turkic Speaking World 第3回シンポジウム

場所：イギリス、ケンブリッジ (Cambridge, UK)

日程：2012年12月1日(土)～2日(日)

(発表申込はすでに締め切られました)

### Folk Musical Instruments 第19回シンポジウム

場所：バンベルク、ドイツ (Bamberg, Germany)

日程：2013年3月20日(水)～23日(土)

(発表申込はすでに締め切られました)

## 4. ICTM 担当委員 (minako.waseda@gmail.com) からのお願い

### 1) 一斉メールについて

東洋音楽学会員の皆様のうち ICTM 会員に対して、担当委員より不定期に ICTM に関連するお知らせを一斉送信しています。現在までに一斉メールを受信されていない方、また現在 ICTM 会員でない方で、今後 ICTM に関するメール連絡を希望される場合は、担当委員までお知らせください。

### 2) ICTM 関連の情報提供について

ICTM 内の研究会に所属している会員の方からの情報を募集します。お寄せいただいた情報を東洋音楽学会員に発信します。ご協力よろしくお願いたします。

### 3) ICTM 会報 (Bulletin) 掲載記事について

東洋音楽学会は、ICTM の日本国内委員会 (Japan National Committee) として機能しています。国内委員会からの報告を ICTM 会報に掲載してもらうことができます。ICTM 会員のみなさんから、ICTM 会報に掲載を希望する報告事項 (ご自身の出版物や日本における国際学会のお知らせなど) がありましたら、担当委員までお知らせください。

## 東日本支部からのお知らせ

東日本支部では、2013年2月2日の定例研究会での研究発表を募集しております。

発表を希望される方は、発表種別 (研究発表・報告等)、発表題目、要旨 (800字以内)、発表希望月、氏名、所属機関、連絡先 (住所、電話、Fax、E-mail) を明記の上、11月20日までに、下記の東日本支部事務局あて、お申し込みください。

なお、発表希望を提出後1週間経ても東日本支部事務局から連絡がない場合には、メール事故等の可能性がありますので、お手数ですが、再度ご連絡ください。

[東日本支部事務局]

〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号  
一般社団法人 東洋音楽学会東日本支部事務局

E-mail : [tog.higashi@gmail.com](mailto:tog.higashi@gmail.com)

## 会員異動

名簿記載事項の訂正・変更・追加

(2012年5月～7月、訂正箇所は下線部)

**会員異動は、個人情報保護のため削除しました。**

◆住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用はがき、またはファクス、E-mail等でも結構です)

◆改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添えください。(複数表記される場合、どちらを主な表記にするのか等)

◆事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等がある場合には、その旨ご明記ください。

## 図書・資料等の受贈

(2012年5月～7月、到着順)

『阿蘇の神輿歌』 松永建著 熊日出版  
『演劇映像』第53号 早稲田大学演劇映像学会  
『民俗芸能研究』第52号 民俗芸能学会  
『音楽研究3「にほんのふし」』(CD-ROM)馬淵卯三郎著  
『常磐津節演奏者の経歴に関する調査報告書2011年度  
「常磐津節演奏者名鑑 第一巻」(近世1:創流期から幕末期  
までの太夫方)』 竹内有一編著 常磐津節保存会  
『西平ウメ伝承 トンコリ楽曲集』富田友子採録・採譜・解説  
北海道大学アイヌ・先住民研究センター  
『楽道』5,6,7月号 正派邦楽会  
『箏曲要集』 初代山川園松著 勉誠出版  
『李王職雅楽部の研究—植民地時代朝鮮の宮廷音楽伝承』  
山本華子著 書肆フローラ  
『合唱の思考—柴田南雄論の試み』 永原恵三著 春秋社  
『虚無僧研究会 創立30周年記念誌』 虚無僧研究会

『民俗芸能研究』第52号 民俗芸能学会  
 『雅楽だより』第30号 雅楽協議会  
 『歌と語りの言葉とふしの研究』藤田隆則・上野正章編  
 京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター  
 『日本オペラ史 1953〜』  
 関根礼子著 昭和音楽大学オペラ研究所編 水曜社  
 『能楽資料センター紀要』No.23  
 武蔵野大学能楽資料センター  
 『比較詩学と文化の翻訳』大手前大学比較文化研究叢書8  
 川本皓嗣・上垣外憲一編 思文閣出版

『茶の湯と音楽』 岡本文音、思文閣、8,190円  
 『日本民謡事典』  
 長田暁二、千藤幸蔵、全音楽譜出版社、10,290円  
 『日本寮歌集 (新装版)』  
 日本寮歌振興会、国書刊行会、3,675円  
 『能楽からみた中世』 脇田晴子、東京大学出版会、6,090円  
**『バイエルの謎：日本文化になったピアノ教則本』**  
**安田寛、音楽之友社、2,520円**  
 『ピアノ&ボーカル 世界の国歌集』  
 ヤマハミュージックメディア、2,415円  
 『ファジル・サイ：ピアニスト・作曲家・世界市民』  
 ユルゲン・オッテン、畑野小百合、アルテスパブリッシング、  
 2,100円

## 新刊書籍

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

『映画界のドン：岡田茂の活動屋人生』  
 文化通信社、2,730円  
 『オールカラー歌本 世界の国歌集』  
 ヤマハミュージックメディア、1,680円  
 『オペラと歌舞伎 (新版)』 永竹由幸、水曜社、1,680円  
**『音楽科カリキュラムと授業実践の国際比較』**  
**日本学校音楽教育実践学会、音楽之友社、3,150円**  
 『音楽と人間と宇宙：世界の共鳴を科学する』  
 柏野牧夫、ヤマハミュージックメディア、2,520円  
 『音楽のためのドイツ語事典』  
 市川克明、オンキョウパブリッシュ、2,100円  
 『歌舞伎大事典 (最新)』  
 神山彰、丸茂祐佳、柏書房、15,750円  
 『亀治郎の肖像』  
 市川亀治郎、齋藤芳弘、文化出版局、9,799円  
 『キリシタンの文化』 五野井隆史、吉川弘文館、3,000円  
 『芸のこと技のこと：江口隆哉対談集』  
 江口隆哉、金井美三枝、アートダイジェスト、2,520円  
 『幸四郎と観る歌舞伎 (増補版)』  
 小野幸恵、アルテスパブリッシング、2,310円  
 『さよならアメリカ、さよならニッポン』  
 マイケル・ボーダッシュ、奥田祐士、白夜書房、2,940円  
 『始原のジャズ：アフロ・アメリカンの音響の考察』  
 アンドレ・シェフネール、昼間賢、みすず書房、3,570円  
 『静けさの中から：ピアニストの四季』  
 スーザン・トムズ、小川典子、春秋社、2,310円  
 『昭和の戦時歌謡物語：日本人はこれを歌いながら戦争に行った』  
 塩沢実信、展望社、2,100円  
 『宝塚まるかじり!』 荷宮和子、青弓社、1,680円  
 『地歌・箏曲の世界：いま甦る初代富山清琴の芸談』  
 田中健次、徳丸吉彦、勉誠出版、2,940円

『舞台に生きる』 浜畑賢吉、作品社、1,680円  
 『筆で書きたのしい童謡・唱歌』  
 佐々木鐵仙、芸術新聞社、1,890円  
 『松村禎三 作曲家の言葉』 アプサラス、春秋社、2,625円  
**『魔のヴァイオリン (新版)』**  
**佐々木庸一、音楽之友社、2,310円**  
 『面打』 北澤三次郎、神奈川新聞社、1,260円  
 『ロックンロールからロックへ：その文化変容の軌跡』  
 福屋利信、近代文芸社、2,100円  
 『私の西洋音楽巡礼』 徐京植、みすず書房、2,940円

## 新発売視聴覚資料

(ゴシック体の項目は賛助会員による刊行物)

### ●カセット

『磯浜盆唄／お山こ三里』 VZSG-10605、1,200円  
 『気仙坂／さんこ節』 VZSG-10604、1,200円

### ●CD

『後藤すみ子／「春の海」 宮城道雄作品集 (1)』  
 VZCG-765、3,000円  
 『箏・三弦 現代名曲集 (二十三)』 VZCG-766、2,940円  
 『津軽五大民謡』 KICH-253、2,100円  
 『甦る SP 盤・蓄音器サウンドの豊穡 ～明治・大正の流行歌  
 編(上)』 COCJ-37473、2,500円  
 『甦る SP 盤・蓄音器サウンドの豊穡 ～明治・大正の流行歌  
 編(下)』 COCJ-37474、2,500円  
 『甦る SP 盤・蓄音器サウンドの豊穡 ～昭和初期の流行歌  
 編』 COCJ-37475、2,500円

## 編集後記

会報第 86 号をお届けいたします。本学会はこのたび、一般社団法人として新たなスタートを切ることになりました。それに関連する重要なお知らせを掲載いたしましたので、よくお目通しください。大会プログラムも一緒にお届けしました。研究発表やシンポジウムなどに加えて、今年も楽しい企画がもりだくさんです。皆様ぜひお運びください。

今号が校正に入ったころ、訃報が届きました。去る 6 月 20 日、本学会会長を務められた名誉会員の横道万里雄氏が、95 歳で逝去されました。故人のご遺志により、ごく内輪にてご葬儀を済まされたとのこと。心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
(高松晃子)

## 会報編集委員

理事：高松晃子、横井雅子

参事：大久保真利子、荻野珠、柴田真希、橋本かおる、

柳澤久美子、山口かおり

